

都市再生整備計画(第4回変更)

かな ざわ はっ けい えき しゅう へん
金沢八景駅周辺地区

か な がわ けん よこ はま し
神奈川県 横浜市

平成25年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	金沢八景駅周辺地区	面積	1,289 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標

金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や、金沢シーサイドラインと京浜急行金沢八景駅の接続にあわせて、金沢八景駅西側に広がる御伊勢山・権現山などの施設整備を図るとともに、横浜市大などの教育施設との交通動線の改善を図ることにより、駅を中心とした歩行者ネットワークを形成を図りつつ、歴史的資産や円海山・北鎌倉近郊緑地保全区域の円海山緑地、大丸山緑地など自然資源を活かしたまちづくりを推進します。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【まちづくりの経緯】

金沢八景駅周辺地区は、本市の総合計画2010プランで、南部地域の拠点として位置づけられています。

市内で最も古い歴史を有する街の一つであり、13世紀の鎌倉時代中期に鎌倉の都と朝比奈の切り通しを通じて結ばれ、鎌倉幕府にとって重要な交流拠点となっていた地区です。また駅西側の権現山は東照大権現(徳川家康公)を祭ってあった場所であり、四代将軍家綱のころに建立された円通寺客殿が現在も残されています。隣接する御伊勢山は伊勢神宮が祭られていたとされるなど、市内でも有数の歴史的価値の高い地域になっています。

昭和5年には湘南電鉄(現京浜急行)が開通し、駅周辺地区の近代化、都市化が急激に進行するとともに、文化人らの別荘地、近郊の海水浴場、名所旧跡を中心とした観光地として栄えてきました。昭和20年以降には、横浜市立大学や関東学院大学が開校し、現在は約1万人以上の学生が通う文教の地となり、また、周辺では首都圏のベッドタウンとして本格的な開発が進むなか、急激な人口増に対応した駅前の公共的な機能が不足し、市民から駅前の改善要望が強く求められるようになりました。このような状況を踏まえ、昭和59年に本市の6大事業である金沢地先の埋立地の交通機関となる新交通システム・金沢シーサイドラインの金沢八景駅接続を計画決定し、昭和61年に駅東口地区約2.4haにおいて駅前にふさわしい土地利用の促進と広場の整備を目的とした土地区画整理事業を都市計画決定しました。しかしながら、区画整理事業の地元権利者の合意形成が図れず、平成元年の新交通開通では京浜急行との接続を断念し、150m以上も離れた暫定駅により運行している状況が続いています。

こうした状況を解決するため、平成19年に土地区画整理事業において地元権利者の意向を考慮した事業計画に変更したことにより、28年には事業完了の目処が得られました。これを受け、新交通も暫定駅から駅接続を同時に実施することを決定しました。さらにこれを契機として、駅利用者の利便性や街の歴史的資産を活かしたまちづくりの方針を定め、駅西口地区も含めた様々な事業展開を進めていくこととしています。

課題

・円海山緑地や御伊勢山・権現山などの自然資源が豊かに存在しているが、回遊する散策路や案内板等が整備されていないため、地域資源が有効活用されておらず、また、このような良好な自然資源は貴重であるため、市民から市街地の良好な景観を形成する樹林地の保全や活用が求められています。

・駅の東西は、京浜急行により地域が分断されているとともに、駅西側では横浜市大などの教育施設等への歩行者動線を中心とした交通ネットワークが不足し、駅前機能も充実させる必要が生じています。

・新交通・金沢シーサイドラインの金沢八景駅の接続において乗換え客を始めとした駅利用者の利便性向上に向けた施設整備が不可欠となっています。

将来ビジョン(中長期)

地区の将来ビジョンについては、都市計画マスタープラン地区プランによるまちづくりの目標と方針を策定するための取組みを行っているところであり、このマスタープランでは「四季の緑と潮の音 安心と歴史のまちかど」の将来像のもとに3つの目標を定めています。

目標1 災害への備えも整えた安全に暮らせるまち

目標2 歩行者にやさしいバリアフリー環境の充実を進めるまち

目標3 海・山・史跡 地域資源を大切にすまち

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
施設整備による市民満足度	指標	利用者アンケート	まちの魅力や交通利便性の向上により市民満足度が増加する	1	H21	H25
緑の保全活動	人/年	緑の拠点で保全活動に参加した人数	市民参加により緑の保全・活用に係る活動が行われている。	550	H23	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の歴史的自然的資産を有効に保存活用する事業 ・自然資源を活かしたまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・御伊勢山・権現山緑地整備事業 ・円海山緑地整備事業 ・大丸山緑地整備事業 ・野七里緑地整備事業 ・釜利谷緑地整備事業 ・峰緑地整備事業 ・公田・荒井沢緑地整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺における歩行者をはじめとした交通ネットワークの安全性・快適性の向上を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東西連絡自由通路等歩行者ネットワーク改善事業 ・駅東西自由通路整備事業 ・駅西側道路(仮称)
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	5,517	交付限度額	2,206.8	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	5,517	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	2,206.8		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0.0		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金

事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路	駅西側道路(仮称)	横浜市	直	延長約150m	平成25年度	平成28年度	平成25年度	平成25年度	40	10	10	10	
公園													
古都及び緑地保全事業													
河川													
下水道	-			-									
駐車場有効利用システム	-			-									
地域生活基盤施設	御伊勢山・権現山緑地整備事業	横浜市	直	12ha	平成22年度	平成25年度	平成22年度	平成25年度	6	6	6	6	
地域生活基盤施設	円海山緑地整備事業	横浜市	直	116ha	平成23年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	83	83	83	83	
地域生活基盤施設	大丸山緑地整備事業	横浜市	直	44ha	平成23年度	平成25年度	平成23年度	平成25年度	3,719	3,719	3,719	3,719	
地域生活基盤施設	野七里緑地整備事業	横浜市	直	6ha	平成23年度	平成25年度	平成23年度	平成25年度	832	832	832	832	
地域生活基盤施設	釜利谷緑地整備事業	横浜市	直	1ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	275	275	275	275	
地域生活基盤施設	峰緑地整備事業	横浜市	直	2ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	279	279	279	279	
地域生活基盤施設	公田・荒井沢緑地整備事業	横浜市	直	1ha	平成24年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	165	165	165	165	
地域生活基盤施設	駅東西自由通路整備事業	横浜市	直	-	平成24年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	1,030	130	130	130	
高質空間形成施設	-			-									
高次都市施設													
既存建造物活用事業													
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備促進事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計									6,429	5,499	5,499	0	5,499 …A'

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路													
公園													
河川													
下水道	-			-									
合計									0	0	0	0	0 …A''

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

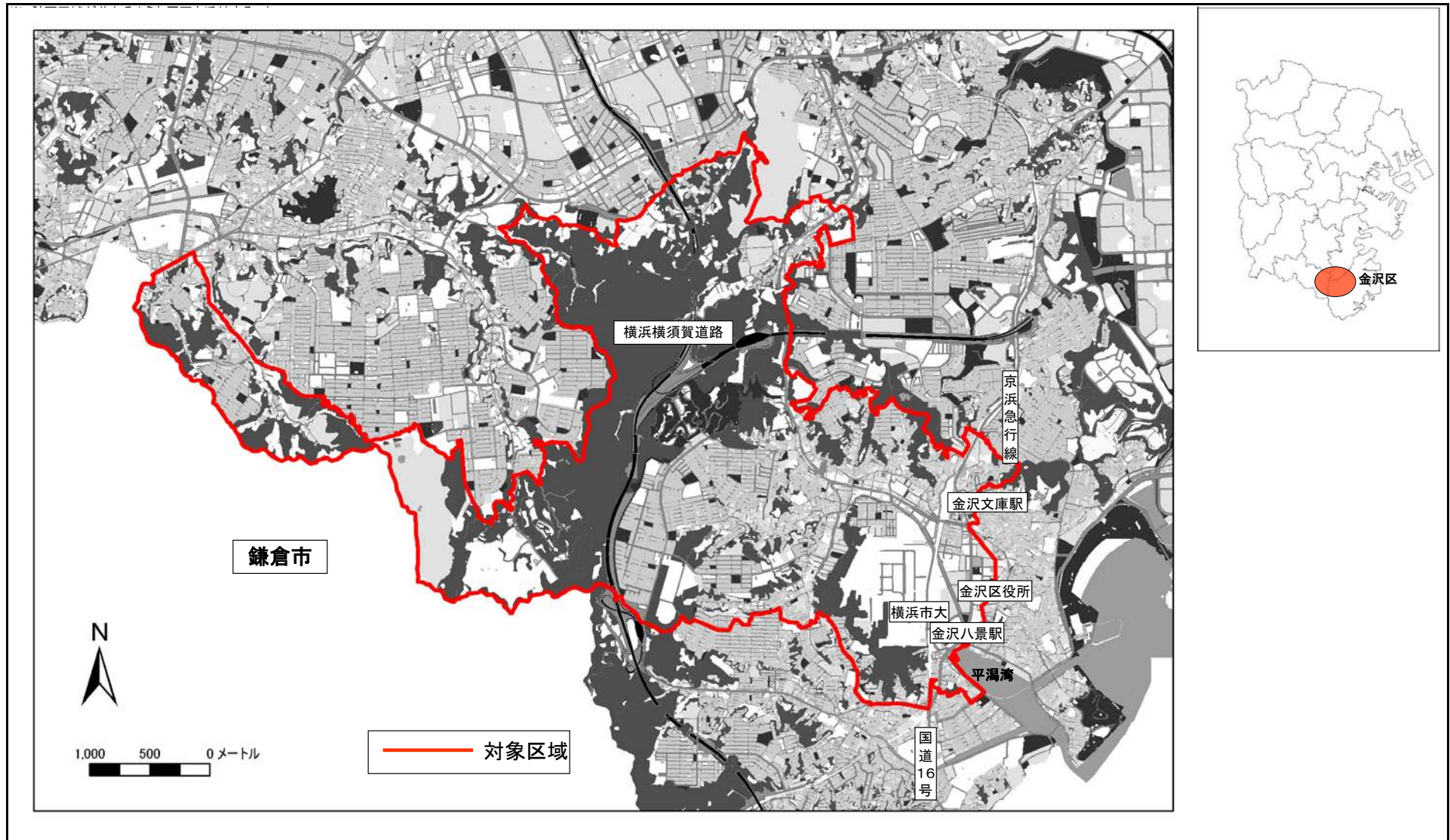
※H24以降分を記載

基幹事業 総計(①+②)

総計										5,499	5,499	0	5,499 …A=A'+A''
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	---	-----------------

都市再生整備計画の区域

<p>金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市)</p>	<p>面積 1289 ha</p>	<p>区域 横浜市金沢区瀬戸町、大川町、泥亀一丁目～二丁目、六浦二丁目、釜利谷町、釜利谷西一丁目～六丁目、釜利谷東一丁目～八丁目、釜利谷南一丁目～四丁目、みづ木町、谷津町、磯子区水取沢町、峰町、栄区上郷町、公田町</p>
---------------------------	-----------------------	--



金沢八景駅周辺地区(神奈川県横浜市)整備方針概要図

目標	金沢八景駅東口地区土地区画整理事業や金沢シーサイドラインの接続にあわせて、駅西側に広がる御伊勢山・権現山などの歴史的資産を活かした施設整備を図るとともに、駅を中心とした歩行者ネットワークを形成を図る。	代表的な指標	利用者アンケート駅 (指標)	1.0 (平成21年度) → 1.2 (25年度)
			緑の保全活動に参加した人数 (人/年)	550 (平成23年度) → 605 (25年度)

